

大名美恵子です

東海村村松 2401-2 電話・fax 284-0761
携帯電話 090-3961-8578
E-mail toukai@oona-mieko.info

ご紹介します！国政に挑む

日本共産党の若いお二人を。



はたやま和也(53歳)

♥あなたとつながって政治を変えます

・元衆議院議員

活動エリア：参議院比例、北関東・東北・北海道ブロック



高橋誠一郎(30歳)

♥誰もが幸せになる権利がある

・茨城大学教育学部卒。

・元「しんぶん赤旗」記者

活動エリア：参議院茨城選挙区内

あなたとつながって政治を変えます。

ギリギリの生活、将来の不安。戦争も気候危機も心配です。おおもとから変えましょう。

身近なところで、声を上げていきましょう。

今度こそ国政へ。 (はたやま和也)

誰もが幸せになる権利がある。

物価高で暮らしの悲鳴があがっています。仕事に追われながらも、ゆとりある給料と人間らしい暮らしが叶わない若者、高い学費が払えず進学と夢をあきらめる青年がいます。

軍事費には湯水のように税金を使い、福祉や教育は貧しい日本。暮らしの困難も、今の社会の生きづらさも、あなたのせいではありません。

自己責任を押しつける冷たい政治を変えたい。政治を動かすのはあなたの声です。ご一緒に変えましょう。 (高橋誠一郎)

ご支援をお願いします



2025年度国予算案

公立学校の教員の長時間労働が問題となるなか、石破茂政権は現場が最も強く求めている教職員定数の拡充に背を向け、2025年度予算案に9000人近い削減を盛り込みました。自公が政権に復帰して予算を編成しだした13年度以降の定数減は計4万人に迫ります。

公立小中学校の教員の1日の労働時間は22年の文科省調査で平均約11時間半(持ち帰り残業含む)。長時間労働は教員の健康を脅かし、教員のなり手不足にも拍車をかけています。ところが、石破政権は25年度予算案に、少子化を口実にした

2025年度の教職員定数の増減

定数増計		5827人
小学校の教科担任制拡充		990人
小学6年生の35人学級化		3086人
日本語指導などのための基礎定数化		551人
中学校の生徒指導担当教師の配置拡充		1000人
多様化する課題への対応		200人
定数減計		▲1万4584人
子どもの減少に伴う「自然減」		▲5638人
学校統廃合に伴う定数減		▲1760人
35人学級化に伴う加配定数振り替え		▲1305人
チームティーチングのための加配の配分見直し		▲100人
教員平均給与単価の算定方法見直し		▲1450人相当
定年引き上げに伴う特例定員の廃止		▲4331人

「自然減」で5638人減、学校統廃合で1760人減など大幅な定数減を盛り込んでいます。